

愛すこやか

— 大人が変われば、子どもも変わる —

編集・発行
愛荘町青少年育成町民会議
事務局
教育委員会事務局生涯学習課内
☎ 0749-37-8055
E-mail syogaku@town.aisho.lg.jp

「能登半島地震に思う」

愛荘町青少年育成町民会議

会長 西村 育郎



令和6年は「あけましておめでとうございます」と寿ぐ^{ことほ}こともはばかれる年明けとなりました。能登半島地震の犠牲になられた方々には謹んで哀悼の意を表します。また、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

1月18日の新聞に、輪島市内の中学生258名が集団避難するという記事が掲載されました。白山市の体験学習施設にて、同行した先生方と生活し、市内の中学校などで授業を受けることになるそうです。期間は最長で2ヶ月だそうです。高校入試を控えた時季に、親元を離れての集団生活を送る生徒たちはもちろん、引率される先生や受け入れ先の教育関係者の皆さんにも大きな試練が待ち受けていることは容易に想像できます。是非とも力を合わせてこの苦境を乗り越えていただきたいと願います。

この新聞記事から、私の脳裏には“学童疎開”という言葉が浮かびました。辞書で調べると“学童疎開”とは太平洋戦争末期の空襲などから避難する時に使う言葉のようです。因みに周りの何人かに「“学童疎開”という言葉を知っているか?」と聞いてみたところ、「知らない。」という答えの多さに驚かされました。

私の近所に能登から移り住まわれている方がおられます。その方が帰省中にこの大地震に遭遇されました。家は大きく壊れたそうですが、幸いにも大きな怪我も無く、実家のご家族とともに命からがら避難されて、避難所ですばらく過ごされたそうです。身近に知っている人のこのような状況を聞くと、一層他人ごととは思えなくなりました。

青少年育成の活動においても、同じ様な事が言えると思います。子どもが学校を卒業すれば“青少年育成”への関心も薄らいでいくものです。しかし、毎朝登校する子どもたちに声かけをするうちに、自然と顔も覚えるものです。それと同時に「今日も一日健やかに・・・」という気持ちも湧いてきます。このような見守り活動が、町内各地区で、区長さんや青少年育成推進員さん、民生委員・児童委員さんなどたくさんの方のご協力のもと行われています。コロナ禍もようやく下火になり、これからは“顔見知りの関係”がもっと広がっていく活動ができればと願っています。今後とも皆様方のご協力をよろしく願います。

町内の子ども会活動を紹介します

【長野西】

長野西中学校PTA子ども会では、毎月第一日曜の朝9時から1時間、花壇の清掃をしています。3年生を中心に、2年生と1年生が手分けして作業しています。年上の子が年下の子へ作業手順を教え、保護者が加わるコミュニティの場でもあります。子どもたちがこの花壇清掃を通して心優しい子どもに育ってほしいと願っています。11月18日、今年もこの花壇にイルミネーションの飾りつけをしました。地域の子もたちとその保護者、自治会役員が協働して行いました。今年は「地域子ども育成事業助成金」の交付を受け、花壇の清掃道具一式と、新たにイルミネーションを買い足し、去年とはまた一味違った作業に彩を添えることができました。

きれいな花壇になりますように



【下八木】

下八木子ども会では、子どもたちにいろんな経験をしてほしいという願いから、会長を中心に話し合い『体験・交流・学び』を軸に考え、『塩キャンドル作り・子ども夏花火大会・水蒸焼き陶芸体験』の活動を計画し実行しました。活動を通じて、塩に絵の具で色付けをする面白さを体験したり、地域の方々に声を掛け、一緒に花火をすることで、楽しく世代間交流をしたりすることができました。また、親子で一緒に何を作るのかを考え実際に作ることで、楽しく伝統工芸を学ぶことができました。

今後も子ども会活動の活性化を図りながら、子どもたちの健全育成を行っていきたいと思います。

どんな作品ができるかな



明るい家庭・地域づくり推進大会

令和5年11月5日（日）にハーティーセンター秦荘にて、明るい家庭・地域づくり推進大会を開催しました。対面での開催は3年ぶりとなりましたが、地域の皆様方にご協力いただき、無事開催することができました。心より感謝申し上げます。本大会は青少年問題や青少年への関わり方について家庭や地域で考え、学ぶ機会としており、今年度は表彰式、記念講演、意見発表、文化発表をそれぞれ次のとおり行いました。

表彰式

今回は、善行表彰と特別表彰で合わせて12名の方々が受賞されました。

善行表彰を受賞されたのは、町内の学校等で読み聞かせをされている「月のくまさん」（読み聞かせボランティアグループ）の中村敦子さんと、同じく個人で読み聞かせ活動をされている森野啓子さん、そして小学校で授業補助や清掃活動等、様々なボランティア活動をされている上林真弓さんの3名です。



中村さん（写真左）と
森野さん（写真右）



会長（写真左）と
上林さん（写真右）



特別表彰を受賞されたのは、愛荘町社会教育委員会と愛荘町青少年育成町民会議主催の「まちじゅう読書の推進ポスターデザイン募集事業」にて優秀作品に選ばれた以下の9名です。



優秀作品受賞者

〈小学生の部〉

- | | | |
|-----------|----|------|
| 愛知川小学校1年 | 伊永 | 茜音さん |
| 秦荘西小学校2年 | 田中 | 晴香さん |
| 愛知川東小学校6年 | 西島 | 陽彩さん |

〈中学生の部〉

- | | | |
|---------|----|-------|
| 秦荘中学校1年 | 中村 | 璃胡さん |
| 秦荘中学校1年 | 西澤 | 百花さん |
| 秦荘中学校2年 | 奥居 | 美沙樹さん |

〈一般の部〉

- | | | |
|----|-------|----------------|
| 福嶋 | たみ子さん | ※町内広報用ポスター採用作品 |
| 勝間 | 光さん | |
| 西川 | 裕治さん | |
| | | |



優秀作品

記念講演

未来に光を！子どもが豊かに成長するために

～今 わたしたちに できること～

講師：滋賀県スクールソーシャルワーク
スーパーバイザー 上村 文子 さん

上村さんには、社会的弱者である子どもたちのために、家庭や学校、地域でできることをお話いただきました。子どもたちが育つ中で直面する様々な困難に柔軟に対応する力（レジリエンス）の育成や人的ネットワークの構築等の重要性についてご教授いただきました。



子どもの育ちと環境について説明される上村さん

意見発表



題名：友達と共に
秦荘西小学校 6年生
青木 真歩 さん

柔道を習い始めたばかりの頃、辛い練習から逃げ出したいと思っていた私を友達が励ましてくれたことがとても印象に残っています。今は私も友達のように、困っている人がいたら助けるように心がけています。これから困っている人のために行動していきたいです。



題名：家族はぼくのたからもの
秦荘東小学校 6年生
村川 結憂真 さん

ピアノの練習で挫折しそうな時に父が励ましてくれたこと、良くないことをした時に母が叱ってくれたこと、弟と喧嘩したことなど、日常の何気ない出来事の中に家族がお互いを思いやる気持ちがあることに気づきました。そんな家族は、僕にとってかけがえのない宝物です。



題名：地域の人と私たち
愛知川小学校 6年生
田中 芽唯 さん

地域の人のお話を聞いて、あいさつをはじめとしたコミュニケーションを取ることは、自分も相手も良い気持ちになり、良い関係づくりにもつながることから大切だと考えました。そのため、日々お世話になっている地域の人にはたくさん感謝を伝えたいです。



題名：私と友達
愛知川東小学校 6年生
長原 心花 さん

テストの結果に落ち込んでいる時や掃除で授業に遅れそうな時、宿題をする時など、私が困っているといつも友達がかけつけてくれました。そんな友達に日々感謝しています。これからは自分がしてもらったことを友達にしてあげたいです。



題名：自分らしさ
秦荘中学校 3年生
山本 妃沙乃 さん

「男性らしさ」「女性らしさ」といった言葉の裏には差別的な考えがあるように感じます。「男性」「女性」といった見方から、一人の「人」という見方に変われば、差別は少しずつでもなくなっていくはずですよ。そのために私にできることは、困っている人に声をかけたり、助けたり、様々な考え方を伝えたりすることだと思います。



題名：普通
愛知中学校 3年生
谷田 愛華 さん

「普通」という言葉の意味は、健常者としょうがい者では違います。また、「可哀想」という言葉も使う本人がいくら相手のことを案じていても、言われた相手にとっては侮辱にしかならない差別的な言葉だと思います。そんな差別をなくすために、私は今後、相手の立場に立って発言していきたいです。

文化発表

今年度の新たな取り組みとして、愛荘町子ども能楽教室の皆様にご出演いただき、仕舞を披露していただきました。仕舞とは、能の一部を舞と謡だけで演じることを言います。普段の生活で能を観る機会は減多にないため、とても貴重な時間となりました。



演目「田村クセ」
出演 外川 珊瑚さん



演目「敦盛クセ」
出演 田中 亮成さん

地域教育協議会だより

愛荘町エコトリアルは、地域の自然環境や防災・文化に関する体験学習を通じて、ふるさと愛荘をよく知り、地域を愛する子どもたちの育成をめざし活動しており、今年度は町内31名の子どもたちが活動に参加しました。

また、エコトリアルとは別に子ども体験活動を新たに年3回実施し、子どもたちの主体的な学びの循環につながる取り組みを実施しました。

他に隔週土曜日の午前中には、愛荘町少年少女合唱団が活動しています。

今年度のエコトリアルと子ども体験活動の一部を紹介します。



少年少女合唱団

エコトリアル

ミニ・スポーツ大会

令和5年7月8日（土）、愛知川体育館で「ミニ・スポーツ大会」を行いました。

町スポーツ推進委員の指導の下、グループ対抗でミニ・スポーツ3種目を行いました。

キャッチング・ザ・ステックとポッチャのあと、2025年国スポ・障スポで愛荘町のスポーツセンター秦荘グラウンドで実施される『アーチェリー競技』の簡易版であるミニ・アーチェリーの体験を行い、楽しく交流をしました。参加した児童に聞くと「楽しかった」「アーチェリーをやってみたい」などうれしそうに話してくれました。



また、学生ボランティアや地域ボランティアにも協力いただき、楽しく交流ができました。

子ども体験活動

日本料理の体験活動

令和5年10月14日（土）ハーティーセンター秦荘の調理室で、日本料理の体験活動を実施しました。

愛荘町出身で調理師の生田一雄さん^{いくたかずお}をお迎えして、日本料理の神髄を教えていただき、実際に「しゃけのバター焼き」と「茶碗蒸し」を作りました。保護者の方にも見学と支援をいただきながら子どもたちも普段慣れていない料理に親しむことができました。

限られた時間でしたが、生田さんからは、シェフになったきっかけやお店を任されたときの思い、仕事を通して学ばれたこと等を子どもたちにお話しいただきました。

子どもたちからは「楽しく料理ができた」と好評でした。



青少年の非行・被害防止滋賀県強調月間街頭啓発

令和5年7月11日（火）、平和堂愛知川店及びフレンドマート秦荘店にて啓発品を配布しました。17時から配布を開始し、両店舗とも1時間ほどですべての啓発品を配り終えました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



平和堂愛知川店 フレンドマート秦荘店

愛のひと声パトロール

例年、子どもたちの安心安全や青少年の非行防止を目的に、各地区の青少年育成推進員が中心となって自治会内のパトロールにあたっています。今年度は令和5年7月21日（金）から8月28日（月）までの夏休み期間に、町内の各事業所等をパトロールしていただきました。



各自治会配布物

愛知川祇園納涼祭花火大会パトロール

令和5年7月15日（土）、4年ぶりに愛知川祇園納涼祭花火大会が開催されました。18時から21時までの間、本町民会議からは総務委員3名と事務局2名の計5名でパトロールにあたりました。久々の開催に多くの人々が賑わいましたが、幸い大きなトラブル等はありませんでした。



異変がないかチェック

家族でお仕事大作戦

愛のひと声パトロールと同じく、令和5年7月21日（金）から8月28日（月）までの夏休み期間中、小学生のお子さんを対象に「家族でお仕事大作戦」を実施しました。町内4小学校で8割以上のお子さんに取り組んでいただき、お手伝いの習慣づけや家族との交流、会話のきっかけになったとご感想をいただきました。



上：記録カード（裏）
下：記録カード（表）